



6. 考察

6-1. 結果の分析

調査結果は日本＞インドネシア＞ベトナム＞カンボジア

理由

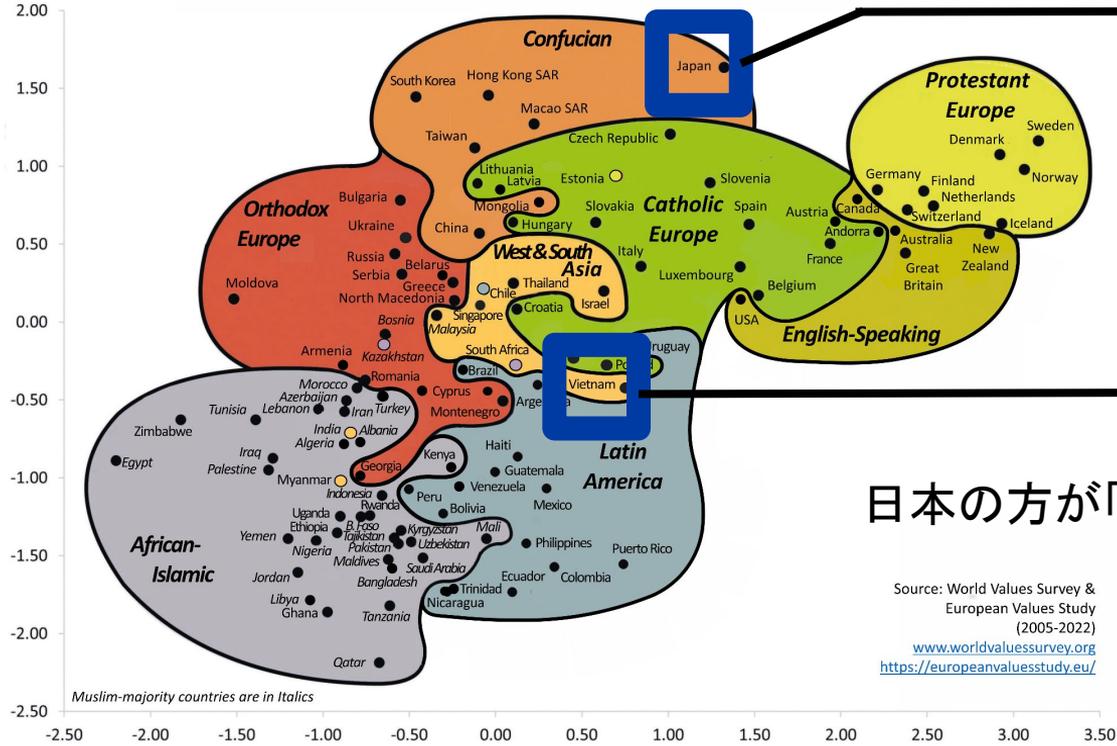
その国が「**個人主義**」か「**集団主義**」と、
「**生存価値**」か「**自己表現価値**」のどちらを
重視するのかが結果に大きく関係している

6-2. インゲルハート・ヴィルゼル文化地図

The Inglehart-Welzel World Cultural Map 2022

日本

世俗的 / 伝統的



ベトナム

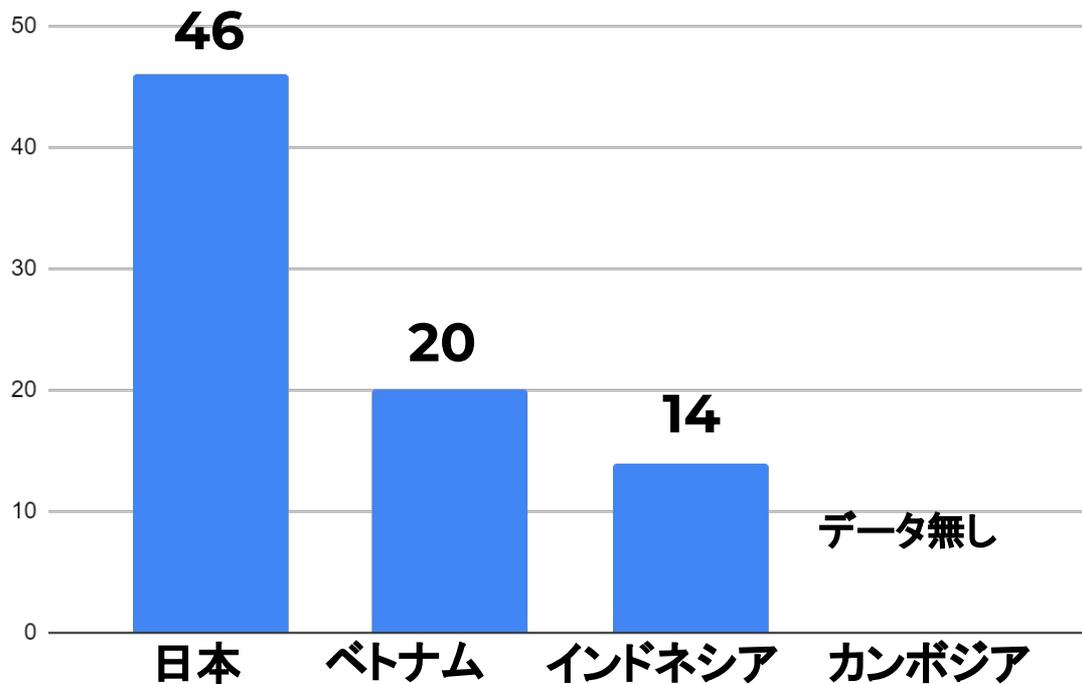
日本の方が「自己表現価値」が高い

Source: World Values Survey & European Values Study (2005-2022)
www.worldvaluessurvey.org
<https://europeanvaluesstudy.eu/>

生存価値/自己表現価値 (引用: <https://www.worldvaluessurvey.org/WVSNewsShow.jsp?ID=428>)

6-3. ホフステッド指数

個人主義の数値(高いほど個人主義)



(引用: [国別比較 - ホフステッドインサイト\(hofstede-insights.com\)](http://hofstede-insights.com))

6-4.仮説との違いについて

2つの指標を元に**予測**すると

日本 > **ベトナム** > **インドネシア** > カンボジア

結果は

日本 > **インドネシア** > **ベトナム** > カンボジア

インドネシアとベトナムのスコアの順位はなぜ違うのか？

6-5. 仮説との違いについて

考察

- ①ホフステッド指数の「個人主義」か「集団主義」のみで判断
→個人主義の項目以外の全ての数値で、インドネシア>ベトナム
先行研究で取り上げていない側面が関係している

- ②数値が近い国同士で共通点がある
日本、インドネシア→長期主義(遠い未来の利益を優先する)
ベトナム、カンボジア→上下関係が厳しい

- ③インドネシアの調査数が特に少なかった